

労働災害報告(第2報) 様式

- * 災害発生の場合、速やかに電話・メール等により(口頭)報告
- * 災害発生後、翌日中に「事故・災害・事件報告書」(第1報)にて報告
- * 災害発生後、1ヶ月以内に本様式(第2報)にて詳細報告

社長	常務	安全環境部		総務部		事故発生箇所	
部長	課長	部長	課長	責任者	担当者		
大 和 田	中	小 柳	伊 藤	橋	今 村	少 柳	
木	山	井	原	一	久	少	柳

発生会社名	事業所名					
浜辺工業	有明機電工業㈱第二工場					
年(西暦)	発生年月日(曜日)時刻					
	2020年 1月 8日(水) 14時 25分頃					
被災者	所属	機械装置事業部製造二課				
	氏名	被災者	年令	22	性別 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	
	勤続年数	3年 9ヶ月				
	作業経験	3年 7ヶ月				
	(構内経験)	年 月				
	傷病名	左手示指・中指・薬指切創及びすじ断裂				
	休業見込み	約9日				
災害の概要						
<p>第二工場にて工程完了の部材(1075×771×20mm 約110kg)を次の工程を行う 第三工場へ運ぼうとフォークリフトにて取りに来た】係員A 【へ被災者が手伝うと申し出、部材を二人で抱えてフォークリフトに積もうとした所、被災者がバランスを崩して部材とりん木で左手を挟み被災。上長へ連絡後永田整形外科を受診。 (示指・中指すじ断裂歎診断で後日手術予定)</p>						
災害状況						
<p>6:00 始業前組込みにてKY活動実施(KY内容はクレーン作業) 6:05 本社第二工場横型機械BF-Bにて作業(チャンバー1次加工) 14:20 第三工場から 係員A が部材引取りに来た際に部材をクレーンで運ばず、二人作業で運ばないかと被災者が提案。 14:25 二人で部材を持ち上げた際にバランスを崩し、厘木と部材で指を挟み被災。被災者はその後に指を洗浄。 14:30 同部/B主任:に連絡。状況を確認し永田整形外科へ搬送。 17:00 診察・治療・レントゲン等の結果 上記傷病名と診断。 専門治療必要との事で大牟田市立を紹介される。 1/9 大牟田市立病院にて診察、後日手術必要との事。 感染症予防の為、傷口塞ぐまで経過観察。 (週に一回の通院を行い、傷口の経過観察) 1/30 傷口が塞がり感染症の恐れがない為、今後は手術・入院の予定。(2/5手術・入院日取りの打合せ予定)</p>						

社員・協力会社 死亡・休業・不休業

災害報告書(第2報)

2020年2月3日

会社名 有明機電工業株式会社

発生場所	本社第二工場				発生原因		
作業の種別					(人目的)	天板の重量の見積もりができなかった。	
異常処理作業	定常作業	点検作業	修理作業	建設工事		2人で持ち上げると勘違いした。	
突発作業	定修工事	臨時作業				重量物との認識が不足していた。	
作業の形態	単独作業		共同作業		(物目的)		
<発生状況図>	発生箇所(第二工場)				クレーンを使用しなかった。		
					(管理的)	30kgとはどの程度かの教育をしていなかった。	
					対策		
					(人目的)	作業前の人一人KYの徹底 図面などで重量を把握する。	
					(物目的)	重量物にはクレーンを使うことを徹底する。	
					(管理的)	30kgのサンプル片を作成し、重量の見積もりしやすいようにする。	
					加工中の製品に関してはバリ、油の付着が考えられるので基本、二人以上でも抱えないことを周知。		
					顛災防止の視点		
					各部内での安全教育の見直し。(現状確認と今後の教育実施内容の確認)再教育の実施。 全社での集合教育の実施予定。(安全環境部)		